

## 市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主 催：倉吉市公民館管理委員長会  
と き：平成27年2月12日（木）15：00～  
と ころ：成徳公民館第1・第2会議室  
テ ー マ：「地区公民館と地域活性化」



### <主な意見について（抜粋）>

#### 【地区公民館のできる人づくりについて】

◇明倫では総務省の事業を活用し「みんなの明倫会議」を開催している。ここでは人の意見の批判をしないというルールを作っている。参加自由のため毎回メンバーが変わるが、話が戻らないような進め方をし、また、メンバーが変わっても最後まで残ってくれている人がいるので、その人をリーダーとして育てていく。

- この取組みは、社会教育というより自治公民館、住民自治の取組み。住民自治と地区公民館がどう関わるのか整理が必要になるだろう。
- 明倫地区はリーダーが育っている。こういった取組みは世話をする人がいないと進まない。この取組みは集落支援員が中心に動いている。支援員を市内に広げていきたい。

◇小鴨地区では「隣のDAI学院」という講座をしている。スタートは自分達の学びのためだったが、地域に声かけをするようになった。講座を続けるに当たって2年目以降は地区振興協議会が講座をカバーしている。公民館事業はなかなか長期には続かない。その受け皿は地区振興協議会。地域のリーダーは、PTAのリーダーがそのまま地域のリーダーになったり、講座から生まれたリーダーが地域のリーダーになったりしている。

- うまく回っている地域、元気な地域というのは「リーダー」と「サポーター」の関係ができています。無理にリーダーを作らなくても、地区外からリーダーを呼んでくる事も一つの方法。

◇成徳では、地域でのリーダーとなり得る人材はいる。課題は公民館の講座の中からリーダーができて、それをどれだけ広げられるか。地域から生まれた地域のリーダーを、今度は倉吉市全体に広げていくような施策は考えておられるか。

- 地域のリーダーは、その地域のニーズに合わせて育ったものだと思う。人ではなく、その取組み事例を紹介していく方がよいのではないかと。

◇高城地区では管理委員会の機能が弱体化している。管理委員会は地域の団体から出てきてもらって組織しているが、役員が持ち回りの充て職になっている。また、高城にもNPOがあるがNPOがあると住民自治は地区公民館よりもNPO頼りになる。管理委員会も自覚が必要。公民館の運営を任されている責任がある。

- 地域の中には自治公民館協議会、地区振興協議会、青少年育成協議会等それぞれ役割を果たす組織がある。地域性はあって良いと思うが、公民館とそれぞれの団体の役割の整理は必要。